

＜学界消息＞

◇関西支部の活動

(2004年11月～2005年2月)

第13回関西支部研究大会

テーマ：環境教育における「意欲の増進」と「人材の育成」－「あいな」(国土交通省国営明石海峡公園神戸地区)からの発信－

日時：2004年12月11日(土)・12日(日)

会場：甲南大学／あいな里山公園(国土交通省国営明石海峡公園神戸地区)

共催：甲南大学環境総合研究所

後援：「地球環境と世界市民」国際協会

[1日目(12月11日(土)／甲南大学)]

第4回環境教育公開セミナーⅠ(学会主催講習会)

「環境教育における統計処理の方法今井清一氏(神戸親和女子大学)

第4回環境教育公開セミナーⅡ(学会主催講習会)

「日本の環境教育の歴史－自然保護のレポートの書き方－」金田平氏((財)日本自然保護協会)

基調講演Ⅰ「国営明石海峡公園「神戸地区」(あいな里山公園)の展開」松本勝正氏(国営明石海峡公園事務所所長)

基調講演Ⅱ「国営公園にどのように環境教育プログラムを導入するか」谷口文章氏(関西支部支部長／甲南大学環境総合研究所所長)

シンポジウム「環境教育における「意欲の増進」と「人材の育成」－「あいな」を通じた里山活動－」コーディネーター：谷口文章氏(甲南大学)シンポジスト：「自然保護の立場から」金田平氏((財)日本自然保護協会)「あいな里山ビオパーク活動の現場から」赤尾整志氏(あいな里山ビオパーク代表)「国営明石海峡公園事務所の立場から」松本勝正氏(国営明石海峡公園事務所所長)

自主企画シンポジウム「ESDと環境教育」福島古氏(環境戦略解析機構)、森家章雄氏(兵庫県立大学)

＜A分科会＞ テーマ：「里山・自然」 座長：木

内功氏、菊地泰博氏

高原哲史(神戸親和女子大学大学院)「環境教育における自然との“かかわり”の意義に関する一考察－センサリー・アウェアネスを中心に－」

山田弘司((財)大阪市教育振興公社)「信太山湿地群における自然の様相と生態環境－自然保護と環境教育の位置づけ－」

天野雅夫(甲南病院看護専門学校・あいな里山ビオパーク)「里山における市民環境活動の展開－神戸市北区の事例を通じて－」

菊地泰博((財)ひょうご環境創造協会)「(財)ひょうご環境創造協会における環境保全創造事業について」

木内功(大阪府立総合青少年野外活動センター(大阪府青少年活動財団))「大阪府立総合青少年野外活動センターの森作りプログラム－実践報告」

植田善太郎(泉大津市立上條小学校)「里山林の土壌調査(大阪教育大学柏原キャンパス)」

本庄眞(奈良県香芝市立真美ヶ丘東小学校)「身近な自然とひびきあえる子をめざして－「さんぼ」の学習は子ども同士のコミュニケーションを育てる－」

＜B分科会＞ テーマ：「総合的学習の時間・環境教育の理論」 座長：赤尾整志氏、田代智恵子氏 小山真輔(兵庫教育大学大学院)「総合的な学習の時間における環境教育のカリキュラム開発－食と農の環境教育を中心として－」

○岡田泰典(甲南大学大学院)・谷口文章(甲南大学)「道徳判断における普遍化可能性の原理－環境倫理における規範性の問題－」

○松田拓也(甲南大学大学院)・谷口文章(甲南大学)「現代における「ルソーの感性教育」を基盤とした環境教育について－デューイのラボラトリースクールをてがかりに－」

○渡辺りわ(甲南大学研究生)・谷口文章(甲南大学)「道徳的判断を適用した環境教育－「共通の環境モラル」の形成のために－」

○山口敬志(甲南大学文学部研究生)・谷口文章(甲南大学)「デューイの教育哲学による「体験学習と環境教育」」

- 小篠和之・田中晃・石川聡子（ひらかた環境ネットワーク会議）・濱谷智次（大阪府立磯島高等学校）「枚方市における学校版EMSの推進について」
- 重藤英一（大阪府門真市立第二中学校）「『電池と環境』を素材とした『総合的な学習の時間』の試み」
- < C分科会 > テーマ：「持続可能な開発のための教育の10年・ISO」座長：福島古氏、森家章雄氏
- 鹿角愛（大阪教育大学大学院）・石川聡子（大阪教育大学）「自治体主導型の学校版環境ISOの特徴について」
- 森家章雄・西川祥子（兵庫県立大学）「学術用語『環境学』の用法と意味について」
- 福島古（環境戦略解析機構）「持続可能性戦略の30年」
- 新田和弘（近畿大学生物理工学部）「持続可能な開発のための教育（ESD）とローカル・アジェンダ21（LA21）－大阪府豊中市－」
- < D分科会 > テーマ：「生涯学習・社会教育」座長：植田善太郎氏、岡村悦治氏
- 藤井孝明（甲南大学大学院）・谷口文章（甲南大学）「『エコロジカルな自己』実現を目指した環境教育－ディープ・エコロジーの思想を通じて－」
- 濱本直樹（神戸親和女子大学大学院）「教育環境におけるノンバーバルコミュニケーションの意義」
- 小山真輔（兵庫教育大学大学院）「学校と地域コミュニティのつながり」
- 浜尚美（平成15年度神戸市環境大学実践講座）・松本朱実（動物教材研究所pocket）・藤井真弓（NPO法人エコレンジャー）・安宅範子（王子動物園動物科学資料館）「『王子動物園で学ぼう環境問題』～環境教育施設としての動物園の活用～」
- 塩崎茂雄・田中実・橘哲雄・沼本啓子（ひらかた環境ネットワーク会議環境教育サポート部会）「自治体が発行する『環境副読本』の内容の比較分析」
- 桔梗佑子（甲南大学大学院）・谷口文章（甲南大学）「生涯発達における環境教育の役割－ライフサイクル（初期成人期以降）における展開－」
- 金井猛徳（大阪府立大学大学院農学生命科学研究所）・橘淳治（大阪府教育センター）・下野義人（大阪府香里丘高校）・木村進（大阪府泉北高校）・山本勝博（大阪府教育センター）・小山修平（大阪府立大学大学院農学生命科学研究所）「GRASS GISによる大阪府下の環境指標生物の変動分析と評価－1989～2003 大阪府高等学校生物教育研究会の調査データを用いて－」
- 清水清（茨木市環境教育ボランティア）「生涯学習と環境教育」
- < パネル展示 >
- 国営明石海峡公園事務所「国営明石海峡公園神戸地区（あいな里山公園）への案内」
- 赤尾整志・天野雅夫（あいな里山バイオパーク）「あいな里山バイオパークの活動」
- 菊地泰博（（財）ひょうご環境創造協会）「地球温暖化防止パネルについて」
- 木内功（大阪府立総合青少年野外活動センター（大阪府青少年活動財団））「大阪府立総合青少年野外活動センターの自然と里山プログラム」
- 北村大輔・西村有加里 他22名（甲南大学）「環境創造活動の推進と環境教育のモデルプログラム・教材の作成－伝統文化の継承、省エネルギー・省資源の推進、環境ボランティア、ネットワーク化の環境活動から－」
- 谷口文章（甲南大学環境総合研究所所長）「甲南大学環境総合研究所の紹介」
- 神戸パピルス研究所「パピルス『あし舟』製作と震災慰霊の航海」
- [2日目：エクスカージョン（12月12日（日）／あいな里山公園（国土交通省国営明石海峡公園神戸地区））
- こうべ環境未来館見学
- あいな里山公園（国土交通省国営明石海峡公園神戸地区）見学
- ワークショップの開催
- 第122回ワークショップ（2004/11/27 於：甲南大学）

シンポジウム「パートナーシップによる環境教育の展開」(共催：甲南大学広域副専攻科目「環境教育の実践Ⅱ」) 浅野 能昭氏 ((財)地球環境戦略研究機関上席研究員) 大久保規子氏 (甲南大学) 谷口文章氏 (甲南大学)

第123回ワークショップ (2005/1/8 於：甲南大学)

「川の環境 (学習) に関する諸問題の検討 - 水生動物の指標性など -」 本庄真氏 (奈良県香芝市立真美ヶ丘東小学校)

ニュースレター「関西ECOMAIL」の発行
第81号 (2004/11/18)

◇福岡県支部の活動 (2004年1月～2005年2月)

第10回福岡県環境教育学会例会

2004年4月18日(日)

時井純子 (久留米市役所)「環境配慮のライフスタイルを誘導する法制度 - 市民と行政の協働システムの構築 -」

藤本登 (福岡教育大学・北部九州エネルギー環境教育研究会)「環境教育に関する福岡県内NPO・学校へのアンケート調査報告」

第11回福岡県環境教育学会例会

2004年5月30日(日)

テーマ：環境シンポジウムinなまかま～環境・なまかの輪をひろげよう～

基調講演：妹川征男 (福岡県立折尾高等学校)「子や孫に、あなたは何を残しますか？」

実践発表：

- ・岩崎和彦 (中間市立中間東小学校)「学校ビオトープと環境教育」
- ・福岡県立中間高等学校生徒会「我が校の環境美化活動」
- ・松田寛 (中間市の環境を考える会)「中間市の環境を考える会の活動報告」

・安永静江 (中間市EMどんどん会)「EMとの出会いとおつきあい」

パネルディスカッション：貞末伸作 (中間市市民経済部)、杉野健治 (唐戸町堀川を守る会)、福井藤子 (北九州グリーンユース)、入江日出男 ((株)安川電機中間事業所)、大野孝道 (中間市の環境を考える会)

福岡県環境教育学会第7回年会

2004年8月7日(土)

テーマ：身近な自然と親しむ環境教育～子ども・大人・つたえ愛・かかわり愛～

シンポジウム：コーディネーター；高橋幸子 (鞍手町立室木小学校)

- ・松尾正直 (直方市立新人小学校)「地域の人と自然の関わりを活かした環境教育」
- ・松尾扶美 (直方市立第三中学校3年生)「わたしと地域そしてわたしが地域で学んだこと」
- ・濱田真由美 (NPO法人地域交流センター九州)「都会っ子が求めるこれからの環境学習」
- ・中尾明子、中尾恵子 (方城町ホテルの会)「ほたるからメッセージ～ほたるはかけがえのない家族」

口頭発表：

〈第1分科会〉

本田守ほか (九州国際大学付属高等学校女子部生物研究部)「皿倉山の自然第6報 自然林と人工林の比較「人工林は動物の棲めない林か？」その1 (植物生態調査による評価)」

本田守ほか (九州国際大学付属高等学校女子部生物研究部)「皿倉山の自然第6報 自然林と人工林の比較「人工林は動物の棲めない林か？」その2 (土壌動物調査による評価・総合考察・生物研究部の活動報告)」

山尾佳史ほか (福岡県立柏陵高等学校)「柏陵高等学校 環境科学コースの紹介」

青野恵理加ほか (福岡県立柏陵高等学校)「生物探求・課題研究「死環について」

森田高広ほか (福岡県立嘉穂高等学校)「クモのダンス - ジョロウグモとナガコガネグモの行動・形態比較 -」

前田優記ほか（九州国際大学付属高等学校女子部）「環境首都に住む未来の主役たち」

井川貴子ほか（福岡県立小倉工業高等学校）「学校周辺の環境調査」

井上藍（福岡県立修猷館高等学校）「高校生によるエネルギー・環境教育資料集の作成」

西山敢（福岡県立魁成高等学校）「福岡魁成高校エコロジー研究会の取り組み」

〈第2分科会〉

松崎啓子（高見幼稚園）「幼稚園における環境教育について考える」

春野克俊（北九州市立赤坂小学校）「小学校中学年用環境副読本を活用した社会科学習」

森佐智枝ほか（福岡私立小呂中学校）「信号機を題材にした環境教育を考える」

高倉健太郎ほか（福岡教育大学）「学校教育におけるエネルギー環境教育」

池田周子ほか（九州国際大学）「環境配慮型ライフスタイルに関する研究」

小堀進ほか（NPO法人直方川づくりの会）「環境教育の場づくりとNPO・学生のネットワークづくり」

藤本登ほか（福岡教育大学）「北部九州エネルギー環境教育研究会の紹介と今後の展望」

三浦一浩（国土交通省遠賀川河川事務所）「遠賀川河川環境教育研究会の3年間のあゆみについて」

〈第3分科会〉

須江建也ほか（近畿大学産業理工学部）「直方チューリップフェアにおけるボランティア活動を通して」

細川洋基ほか（近畿大学産業理工学部）「河川を通して大学間の学生の交流」

馬場邦次ほか（北九州市環境ミュージアム）「中学校養護学級における環境教育の実践」

門脇山希子ほか（近畿大学産業理工学部）「子どもを対象にした環境学習における近大ボランティアの役割」

二宮純子（九州国際大学付属高等学校女子部）「地域に飛び出した高校生の研究活動から考える環境教育」

井上加代（直方川づくり交流会）「遠賀川リバーチ

ャレンジスクール「私だけのアートなトピアリーづくり」実践報告」

水上守（宗像植物友の会）「一般市民エコ活動の総合化の構築」

高倉弘二（NPO北九州ビオトープ・ネットワーク研究会）「江川をはるか～江川カヌー下りとウォーキング～」

太田泰弘（北九州市自然史・歴史博物館）「過去の生物の変遷に基づいた環境教育の試み」

〈ポスター発表〉……24件

第12回福岡県環境教育学会例会

2004年11月23日（火）

和臼干潟自然観察会（協力：和臼干潟を守る会）
クリーンパーク臨海の見学（協力：NPO法人エコネットふくおか）

特別報告

北部九州エネルギー環境教育実践発表会

（後援・本支部のエネルギー環境教育部門の取り組みの一環）

2004年11月28日（日）

基調講演：中村重太（福岡教育大学）「学校におけるエネルギー環境教育」

実践発表：

- ・ 武田貞弘（大牟田市立明治小学校）「エネルギー環境教育実践の概要」
- ・ 石橋竜二（福教大附属福岡中学校）「1Wのエネルギーの体感しよう～技術・家庭科（技術分野）の場合～」
- ・ 永井秀憲（宗像市立城山中学校）「物質と化学変化の利用～化学変化とエネルギー～」
- ・ 井上哲秀（福岡県立小倉高等学校）「総合的な学習の時間における、環境に関する研究と発表」
- ・ 福泉亮（福岡県立修猷館高等学校）「持続可能な連携に向けて～スーパーサイエンスクラブの取り組み～」
- ・ 清水佳香（NPO法人エコけん）「『小中学校・環境NPO』連携一方法と提案～特定非営利活動法人エコけんの場合～」
- ・ 藤本登（福岡教育大学）「大学と教育現場の連携

の現状と課題～九工大・福教大の例～」

教材展示：

北部九州エネルギー環境教育研究会、福岡教育大学技術科、自然エネルギー研究会、NPO法人もしもし地球、九州電力（株）環境部

ニュースレター発行

Vol. 16 (7/10) Vol. 17 (10/16)

***お詫びと訂正**

学会誌28号の学界消息に誤りがありました。関係者に深くお詫びしますとともに以下のように訂正させていただきます。

日本環境教育学会第15回大会記録

口頭発表

[追加]

C204 持続可能な充足を知る社会と欲望のコントロール：福島古（教育10年ネット・環境戦略解析機構）

C205 「2033年のビジョン」を活用した「つながり」を発見する学びへの環境学習の発展：○渡辺敦・八木下一任・中村貴美子・法村美津子・今井みさ子（かながわ環境教育研究会）

C206 NPO主導型環境学習システムの発展ステージの評価指針：石川聡子（大阪教育大学）

[削除]

E204 日韓環境教育交流－玄海灘にかかる虹、干潟・渡り鳥・人を通して持続可能な社会を：○矢野正孝（北九州高専）・田中力（花房小）・高橋俊吾（志井小）

査読者一覧（2004年度）

市川 智史	井上美智子	岩田 好宏
岩本 陽晃	上原 巖	大高 泉
小川 潔	小川 博久	小河原孝生
萩原 彰	北野日出男	上月 康則
笹谷 康之	塩瀬 治	柴田 敏隆
信夫 隆司	諏訪 哲郎	田邊 龍太
土川 忠浩	鶴岡 正義	鳩貝 太郎
浜口 哲一	原田 泰	広瀬 幸雄
比屋根 哲	松葉口玲子	松原 斎樹
見上 一幸	三島 次郎	水山 光春
宮崎 正勝	無藤 隆	山下 宏文
山田 卓三		